

PDF

DXF

JWW

他CAD

標準 50,000円

本商品は、一般社団法人日本電設工業協会が編集・発行を行った書籍 「電気設備工事 施工要領 改訂第3版」に収録されている内容をPDF・CADデータ化したものです。 CADデータは、DXF, JWW形式他で格納されていますので、ご使用のCADに関わらずご活用いただけます。

施工要領とは、施工図作成上の要点について詳細に解説したもので、設計図書に明示されていないが施工上必要な事項、あるいは所定の手続きにより設計図書と異なる施工をする事項について解説したものです。施工要領書を用いることにより、施工前の承認を得るための工事監督員との打ち合わせをスムーズにし、また、現場作業員への作業指示の明確化、施工品質の均一化が図れます。

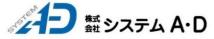
一般社団法人日本電設工業協会「電気設備工事 施工要領 改訂第3版」収録内容

		1000			
1 受	変電設備 1 屋内キュービクル配線	518	コードペンダント、チェーンペンダント		防火区画貫通 - (6) (ピット内)
101	1 屋内キュービクル配線	519	屋外灯、庭園灯	925	防火区画貫通 - (7) (鋼製電線管)
102	2 屋内キュービクルの納まり	6配	線器具	926	防火区画貫通 - (8) (PF 管・CD 管及びケーブル)
103	3 薄型キュービクルの納まり	601	スイッチ、コンセントの取付け - (1) スイッチ、コンセントの取付け - (2)	927	防火区画貫通 - (9) (丸穴開口)
104	4 屋内キュービクルの据付け	602	スイッチ、コンセントの取付け - (2)	928	防火区画貫通 - (10) (丸穴開口)
105	5 屋上設置キュービクルの基礎	603	スイッチ、コンセントの取付け - (3) 二重床の配線器具の取付け 床コンセントの取付け	929	防火区画貫通 - (11) (OA フロア内)
106	5 屋外キュービクルの基礎	604	二重床の配線器具の取付け	930	防火区両貫通 - (12) (会成樹能可とう需線管)
107	7 ピットの施丁例	605	床コンセントの取付け	931	防火区画貫通 - (13) (大臣認定工法)
108	3 変圧器の防振と耐震				- · 屋外配線
100	の 関放式受変電設備の機器配置	7 fb-	換気扇用コンセント		
) 開放式受変電設備のフレームパイプ				ハト小屋周り断面図
					屋上キュービクル周り配置図
	金網取付け		電動機への配線 - (2)		ケーブルの立上り詳細
2 発	電設備	703	電動機への配線 - (3) 電動機への配線 - (4)	1004	地中外壁直埋貫通
201	発電機室内機器配置と保有距離	704	電動機への配線 - (4) 電動機への配線 - (5) 電極棒の取付け 雷動機 (F種) との接続	1005	地中外壁スリーブ貫通
202	発電機室内機器配置と保有距離 (ガスタービン)	705	電動機への配線 - (5)	1006	地中外壁電線管直埋め
203	発電機室内機器配置 (ディーゼル)	706	電極棒の取付け	1007	建物及びマンホールとの接続
204	発電機の防振と耐震	707	電動機 (F種) との接続	1008	架空ケーブル引込図
205	発電機の基礎・防油提	8 通信	言設備		架空ケーブル引込柱
	排気管の支持と耐震	801	書設備 機器の取付高さ		地中ケーブル引込柱
	排気管の壁貫通	802	光ケーブル成端用キャビネット取付木板の取付け		
	煙突との接続方法		子時計の取付け - (1)		
200	連絡 類 据 付け	904			
210	が火火にも高力等	004	子時計の取付け - (2)		
210	補機類据付け 燃料油配管 冷却水配管	805	スピーカの取付け アンテナマストの取付け - (1)	1101	
211	/ 市却水配管	806	アンテナマストの取付け - (1)	1102	接地線の水切り
	消音器のつり	807	アンテナマストの取付け - (2)	1103	試験用端子箱の取付け
	力貯蔵設備	808	パラボナアンテナの取付け	1104	避雷導線と鉄骨又は鉄筋との接続
301	直流電源装置の機器配置(保有距離)	809	監視カメラの取付け	1105	総合接地システム
302	架台の据付け及び配線	810	車路警報装置 (ループ方式) - (1) 車路警報装置 (ループ方式) - (2) 車路警報装置 (光雷等方式)	1106	突針支持管の取付け - (1)
303	UPS の機器配置(保有距離)	811	車路警報装置 (ループ方式) - (2)	1107	突針支持管の取付け - (2)
4 盤类	頁	812	車路警報装置 (光電管方式)	1108	棟上導体・避雷導体の取付け - (1)
401	自立盤 - (1) (コンクリート埋設配管を行う場合)	813	火災報知受信機、発信機等の取付高さ	1109	棟上導体・避雷導体の取付け - (2)
402	自立盤 - (2) (電線管立上げの場合)	814	勢式スポット感知器の取付け	1110	接地丁惠を施す丁作物。(1)
403	自立盤 - (3) (壁支持の場合)	815	熱式スポット感知器の取付け 煙感知器の取付け	1111	按地工車を施す工作物 (2)
404	標準取付高さ	816	光電式分離型感知器の取付け	12 +29	技化工争でルタエIF物 - (2)
		017	防火扉自動閉鎖装置の取付け		光発電設備
	軽量壁埋込み	017	ガス漏れ検知器の取付け	1201	屋内用パワーコンディショナの設置 - (1)
					屋内用パワーコンディショナの設置 - (2)
	コンクリート壁露出取付け(配管埋込み)				屋内・外兼用パワーコンディショナの設置
408	コングリート壁露出取付け(配管露出)	901	PF 管または CD 管のコンクリートスラブ埋込配管	1204	太陽電池モジュール配線
	軽量壁露出取付け		PF 管または CD 管のコンクリート壁埋込配管		
410	ブロック壁露出取付け	903	PF 管または CD 管のコンクリート壁埋設ボックス取付け	1206	陸屋根架台の設置 - (2)
411	ALC 壁露出取付け	904	PF 管の二重天井内配管	13 参考	資料
412	屋外壁露出取付け	905	PF 管の軽量間仕切内配管及びボックスの取付け	1301	シーリング材
5 照明	目設備	906	パラペット立上げ配管	1302	クリーンルーム - (1) (直付け照明器具)
501	コンクリート天井直付照明器具	907	エキスパンション部の配管		クリーンルーム - (2) (埋込み照明器具)
502	コンクリート天井直付灯		EPS 周りの 2 次側配管		クリーンルーム - (3) (配線器具:防塵パッキン工法)
	二重天井直付照明器具		金属管による幹線配管		クリーンルーム - (4) (感知器取付け)
504	コンクリート壁直付照明器具		バスダクトの水平支持方法		クリーンルーム - (5) (スピーカ取付け)
	コンクリート壁直付灯		バスダクトの垂直支持方法		
	軽量間仕切壁直付照明器具				クリーンルーム - (6) (壁貫通処理)
			二重床内のケーブル配線		冷凍・冷蔵倉庫 - (1) (電線管壁貫通)
	外壁面直付灯 (防水型)		二重天井内のケーブル配線		冷凍・冷蔵倉庫 - (2) (ケーブル壁貫通防熱処理)
	二重天井埋込照明器具		ケーブルラックの水平支持方法		冷凍・冷蔵倉庫 - (3) (天井取付け照明器具)
	ダウンライト		ケーブルラックの垂直支持方法 - (1)		冷凍・冷蔵倉庫 - (4) (配線器具)
	システム天井	916	ケーブルラックの垂直支持方法 - (2)	1312	構内情報配線システム構造 - (1)
511	コープ照明	917	垂直ケーブルの支持方法	1313	構内情報配線システム構造 - (2)
512	誘導灯壁取付け	918	垂直ケーブルの最終端支持方法	1314	構内情報配線システム構造 - (3)
513	誘導灯床取付け				構内情報配線システム構造 - (4)
514	誘導灯天井取付け		防火区画貫通 - (2) (ケーブルラック・壁)		
	重量器具の取付け (シャンデリア)		防火区画貫通 - (3) (バスダクト・床)		
	2種金属線ぴ(レースウェイ)の取付け		防火区画貫通 - (4) (バスダクト・壁)		磁気シールド天井と壁の貫通処理
	ライティングダクトの取付け		防火区画貫通 - (5) (金属ダクト・床・壁)	1310	WAANU /VI 八介し至い見歴だほ
1	The second secon	525	(四月) ノー・「八里」		

- ●「電気設備工事 施工要領 改訂第3版 (書籍)」+「電気設備工事 施工要領 改訂第3版 PDF・CAD データ (USB メディア)」がセットです。別々での販売は行っておりません。
- ●CAD データの格納形式は、AutoCAD [DXF], Jw_cad [JWW], CADEWA Smart [ZDW], CADEWA Real [ZDU・ZDX], CADEWA Evolution [ZD3], CRAFT CAD [CB4] です。

■お問い合せ先

- ※本カタログに記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- ※本カタログに記載された内容は予告なく変更することがあります。





[松山] TEL: 089-925-1107 FAX: 089-946-5000 [東京] TEL: 03-3434-3883 FAX: 03-3434-3879